

## 第二回高度化車体整備技能講習会・溶接編開催

9月24日(祝)、日本特殊陶業市民会館会議室において、本年度第二回目の高度化車体整備技能講習会・溶接編が開催されました。

当該講習会は、「先進安全自動車対応優良車体整備事業者」の認定を受けるには必須の講習会であり、本年度第一回目の開催時は47人が受講され、今回は、岐阜車協3人含めて45人の受講者があり、終了後に日車協連発行の修了証書が授与されました。



現在、愛車協では11社の認定事業者が誕生しており、3社準備中です。来賓として愛知運輸支局「加藤首席」が出席され、「当該講習会を受講することにより更に専門知識を習得し、先進安全優良の認定を受けれるよう今後の愛車協に期待をします。」との挨拶をいただきました。



講習の講師は第一回同様、金原正和理事長

及び岩瀬圭一教育委員が全てのカリキュラムを講義しました。

(写真左 ← 手前から 岩瀬講師、加藤首席、金原理事長)



## 事業委員会開催

第32回事業委員会が10月2日(火)14時から、事業委員長、理事長はじめ9名の出席があり、愛車協事務室内において開催されました。

伊藤委員長の挨拶に続き、概ね次のような事項が決定しました。

1. 新賛助会員の入会工程について(パーク24株式会社) → →
2. 自動ブレーキ車試乗体験及びエーミング体験について



- ①日時: 11月3日(土)午前中
  - ②場所: 岡崎市の享成自動車学校
  - ③会費は無料、定員は先着40名
3. 賛助会員との意見交換会について

- ①日時: 11月15日(木)、13時30分～16時10分
- ②懇親会: 17時～20時
- ③場所: 一宮ビル2F大会議室

\*後日、自動ブレーキ車試乗体験及び賛助会員との意見交換会について

のご案内をさせていただきますので、多くの組合員及び賛助会員様のご参加をお待ちしております。

\*委員会議事録は、愛車協HPの最新情報をご確認ください。<https://www.aishakyo.jp/news/topics1/>



## 正・副理事長会開催

第24回正・副理事長会が9月24日(月)全員出席のもと名古屋市民会館において、概ね次の内容が検討されました。

- ①新賛助会員の入会についての工程。
- ②先進安全自動車対応優良車体整備事業者の認定申請を教育委員をはじめ組合員へ推進していく。
- ③11月1日(木)、14時から教育委員会を開催する。その際、教育委員会及び特認部会・推奨部会合同研修会の開催についても特認部会長及び推奨部会長も出席するため、当日検討する。
- ④青年部主体の3団体青年部主催情報交換懇親会の出席について。





# 岡崎支部納涼会

岡崎支部（近藤支部長）は、8月24日（金）19時より、岡崎市康生町のニューグランドホテル内にて岡崎支部会を開催しました。

毎年恒例となっている支部会ビアパーティですが、あいにくの天気で屋上のビアガーデンから室内でのビアパーティに変更になりました。

が、組合員11名（11社）、賛助会員8名（4社）の合計19名の参加で今年の超超猛暑を思い切り吹き飛ばす勢いでビールを堪能しました。



## 知っ得情報：最低賃金

今月は以前にも掲載した、「愛知県の最低賃金」です。

この10月から、愛知労働局発表の愛知県の地域別最低賃金は、なんと時間額898円となりました。



26年10月は、時間額800円でしたから、4年間で100円上昇したことになります。

常用・臨時・派遣・パート・アルバイト等全ての労働者に適用され、事業主は最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。結婚手当・賞与・時間外労働・休日労働・通勤手当・家族手当等は、最低賃金の対象には算入されませんので、ご承知のほど……。



## 前期巡廻健康診断☆終了

本年度の前期巡廻健康診断が9月27日をもって終了しました。

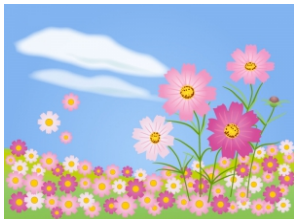
今年の特健診及び一般健診の受診状況は、10地区で組合員の34%にあたる44社、218人の組合員が受診されました。



施設を提供していただいています組合員様には深く感謝申し上げます。

## 初秋のつぶやき☆情けは人のためならず

「情けは人のためならず」とは、「人に対して情けを掛けておけば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくる。」という意味の言葉です。……ご存じでしたか？



ともすると、誤って「親切にするのはその人のためにならない。」の意味に用いることがあります。かく言う吾輩も誤って、解釈していた一人です (>\_<)。

数年前に文化庁が発表した「国語に関する世論調査」で、「人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる」と、「人に情けを掛けて助けてやることは、結局はその人のためにならない」の、どちらの意味だと思いかを尋ねたところ、正解率が45.8%で、誤率は45.7%で拮抗していました。

年代別に見ると驚くことに、10代から50代までは、全て誤った回答をした割合が多く、60歳以上だけ正解率が勝っている不思議な結果になっています。

さて、みなさまはどのように解釈していますことやら。 (^o^) (^o^) (y.m)



11月3日（土）：自動ブレーキ車試乗体験 

 11月15日（木）：賛助会員との意見交換会